



**2 外国語教育**

外国语を通しての平和・人権・多文化共生を追求する実践のあり方等。

【参加者感想】

- ・子どもたちが必然性を感じるようなゴール設定をする
- ・人権を通じての平和・人権・多文化共生を追求する実践のあり方等。

**4 算数・数学教育**

確かな学力を養うための基礎・基本の充実等。

【参加者感想】

- ・基礎・表現の場面設定の大切さは、どこの学校にも共通していることだと感じた。
- ・自分のリポートを見つめ直し、算数・数学的観点からアプローチができるように学校へ持ち帰りたい

**7 音楽教育**

基礎・表現の習熟、思考・表現の習熟、思考・表現の場面設定の大切さは、どこの学校にも共通していることだと感じた。

【参加者感想】

- ・ICTのいいところは、全体ですぐに共有ができる

**10 総合学習**

地域から自分を見つめ、伸び続ける総合学習の「魅力」等。

【参加者感想】

- ・地域から自己を見つめ、伸び続ける総合学習の「魅力」等。

**14 インクルーシブ教育**

自分のリポートを見つめ直し、算数・数学的観点からアプローチができるようになる実験のあり方等。

【参加者感想】

- ・同じく共に共有ができる

**1 日本語教育**

「話す・聞く・伝え合う力」の指導について等。

【参加者感想】

- ・タブレットが導入され、書く、読む、話すことが苦らこそ、手で書き、自分で読み、口で話すことの大切さ、その中でしか育たない思考力があることを改めて教えていただいた

**3 社会科教育**

【参加者感想】

- ・現地調査の有効性を改めて感じた。目的をもって現地に赴くこともそうだが、またま行つた旅行先が良い醍醐味だと思う。子どもの姿を探求する姿を浮かべながら、教材研究の幅を広げていきたい

**13 人権教育**

【参加者感想】

- ・時代の流れの中で多様化する人権問題にどうとりくんでいくのか、感染症への差別など新たな人権問題といかにむき合っていくか改めて考えることができた

**17 環境・公害・食教育**

【参加者感想】

- ・P.O.・生産者との連携推進をどのようにすすめていくか等。

**6 美術教育**

【参加者感想】

- ・自己決定できる場の工夫や、「こうしてみよう」と工夫などを学ぶことができた。美術・図工は、自分の見方を鍛える教科であると感じた

**18 平和教育**

【参加者感想】

- ・地域から自己を見つめ、伸び続ける総合学習の「魅力」等。

**19 メディア・リテラシー**

【参加者感想】

- ・「情報社会」に生きる子ども像をあきらかにし、直接体験を通して、学校教育と家庭や地域をどのように繋げていくか等。

**21 教育課程**

【参加者感想】

- ・教育改革としての教育課程づくりをどのようにすすめているか等。

**22 小規模・少人数校の教育**

【参加者感想】

- ・少人数での強み、地域との関わり、異校種との連携の必要性を再確認した。子ども同士、教職員と子どもとの関係では、育たない部分を地域の人や伝統文化が補ってくれるのだと思った

**23 教育条件整備の運動**

【参加者感想】

- ・様々な内容のとりくみを知ることができ、とても勉強になった。特にモジュールを使った時間割では、6時間目を減らすことができ、教材研究の時間を生み出すことができると思った

**第72次兵庫県教育研究集会**

11月12日(土)・11月13日(日)

**分科会のようす**

分科会の様子を、アンケートから抜粋してお伝えします。



▲森戸卓也研究所所長・中央執行委員長によるあいさつ

単におこなえることなど、音楽科の授業でもメリットにつながる部分は大きいと感じた。特に音づくりの授業では、活用できる場面がたくさんあることに気づくことができた

いろいろな立場の子どもがとりくみの中でどう成長しているのか等。

【参加者感想】

- ・自治と自立は対句、一体である」という言葉が心に残った。「木を見たら森が見えるてくる」という自分が見えるよう子どもたちをつながるのだと改めて感じた

【参加者感想】

- ・直接体験を通して、子どもの知的好奇心と感性をはぐくむ授業づくり等。

【参加者感想】

- ・外國にルーツのある子どもがどう当事者意識をもつかないことに気付くことができた。自身のこれから家庭科の指導やプログラミング指導に生かしていきたい

【参加者感想】

- ・子どもたち、また教職員がどう当事者意識をもつかないことが多いといったら、戦争といえば、広島・長崎というイメージがあるが、郷土にも悲惨な歴史があることを知ることで、他人事ではない、自分事にすることができるのではないかと考えた

【参加者感想】

- ・地域の抱える様々な要因に対しても、各地域の教職員が、様々な方法で子どもたちのために関わり、地域や高校との連携を重ねて、子どもたちの未来を考えていった

【参加者感想】

- ・子どもが自己を見いだし、連帯感をはぐくむことができる活動や指導をどう実現するか等。

【参加者感想】

- ・勤務校は栄養教員が未配置なので、あまり理解できていなかつたが、食育をやってしまったという懸念があり、教材研究の時間を生み出すことができたと思った

**2 外国語教育**

【参加者感想】

- ・子どもたちが必然性を感じるようなゴール設定をする
- ・人権・多文化共生を追求する実践のあり方等。

**4 算数・数学教育**

【参加者感想】

- ・基礎・表現の習熟、思考・表現の場面設定の大切さは、どこの学校にも共通していることだと感じた。
- ・自分のリポートを見つめ直し、算数・数学的観点からアプローチができるように学校へ持ち帰りたい

**7 音楽教育**

【参加者感想】

- ・基礎・表現の習熟、思考・表現の場面設定の大切さは、どこの学校にも共通していることだと感じた。
- ・ICTのいいところは、全体ですぐに共有ができる

**10 総合学習**

【参加者感想】

- ・地域から自己を見つめ、伸び続ける総合学習の「魅力」等。

**14 インクルーシブ教育**

【参加者感想】

- ・自分のリポートを見つめ直し、算数・数学的観点からアプローチができるようになる実験のあり方等。

**1 日本語教育**

【参加者感想】

- ・「話す・聞く・伝え合う力」の指導について等。

**3 社会科教育**

【参加者感想】

- ・現地調査の有効性を改めて感じた。目的をもって現地に赴くこともそうだが、またま行つた旅行先が良い醍醐味だと思う。子どもの姿を探求する姿を浮かべながら、教材研究の幅を広げていきたい

**6 美術教育**

【参加者感想】

- ・子どもたちが興味・関心をもち、主観的に探求することは難しいと感じていたが、教職員の準備ややり方次第で子どもは主観的にとりくみ、科学的思考力を深めることができる学習をどうつくるか

**9 保健・体育**

【参加者感想】

- ・子どもたちが主体となる効果的な保健教育のすすめ方等。

**12 幼年期の教育と保育問題**

【参加者感想】

- ・子どもたちが登園の連続性をつなげる連携のあり方について等。

**15 國際連帶・多文化共生の教育**

【参加者感想】

- ・地域から自己を見つめ、伸び続ける総合学習の「魅力」等。

**16 ジャンパー平等教育**

【参加者感想】

- ・性の教育等。

**19 メディア・リテラシー**

【参加者感想】

- ・「情報社会」に生きる子ども像をあきらかにし、直接体験を通して、学校教育と家庭や地域をどのように繋げていくか等。

**21 教育課程**

【参加者感想】

- ・教育改革としての教育課程づくりをどのようにすすめているか等。

**22 学校・地域における教育改革運動**

【参加者感想】

- ・様々な内容のとりくみを知ることができ、とても勉強になった。特にモジュールを使つた時間割では、6時間目を減らすことができ、教材研究の時間を生み出すことができた